

# 糸島市外部評価 事業概要説明書

## 【糸島市長期総合計画の位置づけ】

基本目標	7 地域資源を生かした産業創出のまちづくり	政策	(3) 観光の推進
------	-----------------------	----	-----------

## 【事業の内容について】

事業名	糸島まるごと農学校事業	担当部・課	農林水産部	農業振興課
根拠法令等	糸島市農力を育む基本条例 (糸島市農力を育む基本計画)	実施主体	糸島市	
開始年度	平成22年度～	実施方法	一部委託	
事業目的	糸島市農力を育む基本条例第3条に規定される、農力を育み、発揮するための基本的かつ総合的な施策の推進のため。(生産者と市民(消費者)の交流の促進)			
事業内容	糸島全体を農学校と見立て、農業・農村で行われている農業体験事業を、子どもから高齢者までの世代を対象に実施。具体的な内容については以下のとおり。 ①赤米を使った田植え・収穫等の各種農業体験、赤米田んぼアート、鑑賞会等のイベントの実施 ②多品目野菜の土づくり、種まき、定植、管理、収穫等体験を年間を通じて実施 ③さつまいもの種植え、ツル上げ、草刈り、収穫体験を実施			
事業効果	<p>糸島市農力を育む基本条例では、糸島の景観・風習・文化に大きな恵みをもたらす食料・農業・農村が持つ力を“農力”と位置付けている。</p> <p>糸島市が持つ農力を市民全体で育むため、市・農業者・市民・食品産業従事者に対し、それぞれの責務、役割を他市町村に先駆けて条例において定めるとともに、H22～H27までの必要な具体的な施策を示したアクションプラン策定したところである。</p> <p>アクションプランでは、基本的な考え方として、食と生産の関連を意識付け生産者と消費者それぞれの思いを理解するため、体験事業等を通じて交流を促進し、食を支える農林水産業への理解を図ることを掲げているところである。</p> <p>そのため、当該事業においては、①「グリーンツーリズムの推進」、②「食と農と環境」への理解促進、③糸島ファンの確立を重点的に実施してきたところである。</p> <p>この事業の取り組みにより、農業体験を通じた都市住民との交流、相互理解と連帯感が深まり、食と農業・農村の社会的価値(自然環境の維持や伝統文化の継承などの多面的機能)への理解も深める事ができた。</p> <p>また、実際に糸島の地で農業体験を実施されたり、赤米田んぼアート等農業の持つ魅力を活かしたイベントを行うことにより、糸島を愛する糸島ファンの獲得につながっている。</p>			

## 【事業費について】

(単位：千円、人)

	国庫支出金	地方債	その他	一般財源	計(事業費)	従事職員数	概算人件費	合計(総コスト)
平成23年度(決算)	0	0	0	431	431	0.500	4,250	4,681
平成24年度(決算)	0	0	0	411	411	0.500	4,250	4,661
平成25年度(当初予算)	0	0	0	424	424	0.500	4,250	4,674

※概算人件費は、市の平均人件費約8,500千円に、その事業に係る年間の職員数を乗じて算出。

事業費の内訳 (平成25年度)	内容	金額(千円)
	講師謝金(米20千円、野菜50千円、さつまいも9千円)	79
	種苗・農業用資材等(米30千円、野菜70千円、いも15千円)	115
	ほ場管理委託料(米150千円、野菜0千円、いも80千円)	230

# 糸島市外部評価 事業概要説明書

## 【担当課による評価・分析】

成果指標名	単位	平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	平成25年度(目標)
都市住民等の参加数	人	1570	1607	1680

平成24年度 の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まるごとコメ道場(米)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成24年6月30日(土)、7月1日(日)、9月16日(日)、平成24年11月10日(土)</li> <li>・内 容：赤米田植え体験 4000㎡の田んぼに赤米でメッセージを作成(赤米アート) 赤米アート鑑賞会 赤米うどん打ち体験 稲刈り体験、コンバイン試乗、竹筒ごはんづくり体験</li> <li>・参加数：講座参加者 延257人 鑑賞来場者 約1000人</li> </ul> </li> <li>●百笑講座(野菜)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成24年4月～12月日(全11回)</li> <li>・内 容：現役農家の指導による、土づくりから種まき、定植、管理、収穫までの農業体験</li> <li>・参加数：110人(10人×11組)</li> </ul> </li> <li>●食と農の体験講座(さつまいも)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成24年6月30日(日)、7月20日(土)、10月20日(日)</li> <li>・内 容：定植、管理、収穫までの農業体験、夏野菜クッキング、やきいもづくり体験</li> <li>・参加数：240人(20組×4人×3回)</li> </ul> </li> </ul>
現状の課題	参加者は微増傾向にあるが、参加者のリピーターが占める割合が多くなっている。イベント内容がマンネリ化が懸念される。
今後の方針	当該講座には都市からの参加も多く、野菜や米づくりに対する市民、都市住民のニーズは高いと考えられる。また、食育のため子どもを伴った家族の参加も増加する傾向にある。そのため、今後も継続して事業を行う予定である。
特記事項	